

しゃらくかい 写真俳句会

令和8年 夏の号 [vol.100]
(7・8月)

<https://3ban.nobody.jp/pc/syaraku/syaraku.html>

投稿先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2026 Sharakukai



100th memorial number

写真俳句の部

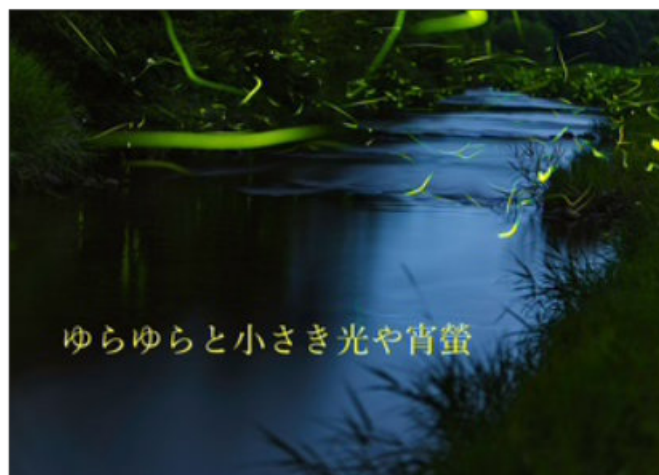
(掲載ランダム)



あおうめ うま
青梅や今年こそはと美味しい酒

(季語：青梅=夏)

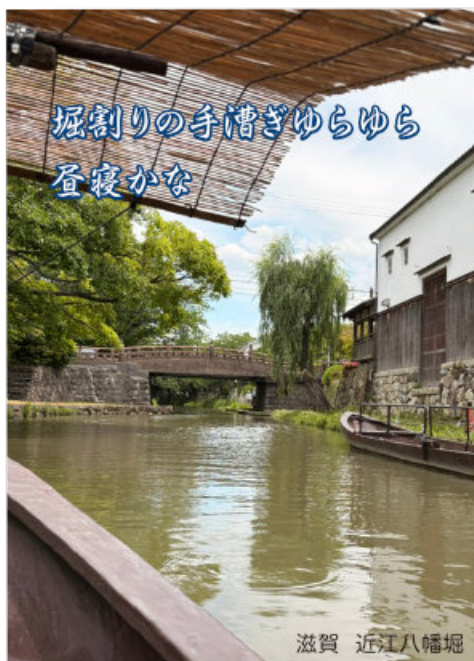
久芽



ゆらゆらと小さき光や宵螢

(季語：螢=夏)

千泉



堀割りの手漕ぎゆらゆら昼寝かな

(季語：昼寝=夏)

陽閑



ひやくじつこう
悲壮なる犬の長舌百日紅

(季語：百日紅=夏)

池福楼



遠くより夕の鐘の音百日紅
(季語：百日紅=夏) 昼寝覚



悪茄子や薄紫して棘を秘む
(季語：悪茄子=夏) iSAMU



風の研ぐ光の中に雲の峰
(季語：雲の峰=夏) 福来雀



朝顔の鉢植え下げて鬼子母神
(季語：朝顔=夏) 準坊



風鈴のひびく境内風きらり
(季語：風鈴=夏) 水澄

準坊
すずかぜ
涼風や窓開け放ち大の字に (季語：涼風=夏)

陽閑
下駄の先爪赤赤と夏盛り (季語：夏盛り=夏)

福来雀
はくう
白雨来てまたギャラリーへ戻りけり (季語：白雨=夏)

千泉
ぼんやりとただ一人見し星涼し (季語：涼し=夏)

久芽
茶を飲みて咳き込み出るや余花一輪 (季語：余花=夏)

水澄
瑠璃色のあじさい路に傘揺れて (季語：あじさい=夏)

池福楼
バーゲンの売り場気掛かり鰻喰う (季語：鰻=夏)

昼寝覚
天神平池に蛙のコロコロコロ (季語：蛙=春)

一枝
鷺降りて朝の河原に白一点 (季語：白鷺=夏)

マム
百までと祈る吾子逝く灼熱日 (季語：無季)

[御息様の悲報に接し謹んでお悔やみ申し上げます] 句会一同

季語解説

青梅 (あおうめ) = 五～六月に梅の実急速に育つ。硬くて青い実を青梅と呼び、梅雨時に黄色く熟した実を実梅 (みうめ) と呼ぶ。【夏】

白雨 (はくう) = ゆだち・夕立 夏の夕方に降る局地的な激しい雨。雷鳴を伴うことも多い。短時間でやんだあとは、からりと晴れ涼気を感じさせる。武蔵野の夕立は馬の背を分けるといわれ、激しいことで知られる。【夏】

百日紅 (さるすべり) = 七～九月に桃・紅・紅紫・白色などのちりめん状の花弁の花が、枝の先端に群がり咲く。花期が長いので百日紅 (ひゃくじつこう) の漢名がある。樹皮が剥がれやすく、滑らかな幹は猿も滑り落ちるので、猿滑 (さるすべり) と名づけられた。【夏】

雲の峰 (くものみね) = 俗に入道雲といわれる積乱雲のことで、そのせりあがる様子を山にたとえていう。【夏】

涼し (すずし) = 涼風 (すずかぜ) 夏の暑さの中であってこそ感じられる涼気をいう。朝夕の涼しさ、水辺の涼しさなど、俳句では暑さの中のかすかな涼しさを捉えて夏を表現する。【夏】

余花 (よくわ・よか) = 初夏にまだ先残っている桜。山間や北国で見られる。【夏】



準坊 _____

日盛りを避けて図書館人多し [考える事は皆同じ]

水澄 _____

梅雨永し健康器具にたよる日々 [運動不足解消]

千泉 _____

休日のモールはにわかの動物園 [子供たちの声も弾んで]

梅雨長しビニール傘を新調す [ビニール傘は増えますね]

池福楼 _____

ワールド杯メッシメッシ!とメシ忘れ [世界中が熱狂したイベントも閉幕]

久芽 _____

皿持つ手ふるえカチャカチャ夫婦して [特に左手です]

陽閑 _____

AIに愚痴をはなして頭下げ [ヤダヤダ]

福来雀 _____

毎年よ初サンダルの靴擦れは [子規の名句のもじり]

創刊100号記念川柳 兼題 [100・百]

ミスショット
ドライバーでも
100ヤード

準坊 [トホホ]



自販機の
釣り忘れてる
100円玉

久芽 [lucky!]



百薬の長だよ酒は
もう一杯

池福楼
[酒飲みの言い訳]



学びなし雀百まで
凡人句

[もう頑張りがたくない歳] 福来雀



おおばば
三歳の孫の大婆百三歳

[本当にご長寿は多くなり] 千泉

脳トレに百歩譲って
AIへ

[何か変な世の中に] 陽閑

創刊100号記念短歌・和歌 兼題 [100・百]

百二歳義母は召されて
看取り医は往診のごと
話し掛けぬる

池福楼

[事務的に扱わず、故人の尊厳を大切にしてくれた医師に感謝]

リハビリも漢方もダメ
痛いのお百度参り
してみようかな

一枝

古浴衣吾より若い
亡母の手の針目百千
なぞりつつ解く

福来雀

- 次回の秋号(9・10月)も写真俳句・俳句の部ともに兼題は無く秋に相応しい季語をお選びいただき、自由に発想を広げて作句をお願いします。締め切りは令和8年9月20日です。
- 写楽句会にご意見、ご希望等ございましたらお知らせください。

- 下記のiSAMUさんのホームページから「写楽句会」をクリックして頂くと写楽句会のバックナンバーが閲覧できます。

<https://3ban.nobody.jp/pc/syaraku/syaraku.html>

写楽句会 連絡先: kinuko_thompson@hotmail.com

© 2026 Sharakukai



100均の
花瓶に映えて
薔薇気どり

準坊

(季語：薔薇=夏)

まだ十日
ポンポン咲きの
百日草

準坊

(季語：百日草=夏)

懺悔の夏
昭和百年引き継ぎぬ

(季語：夏)

池福楼

[2026年・昭和100年]



愛宕山
100の石段
汗にじむ

久芽

(季語：汗=夏)



(日傘の習慣がないイギリスで)

かしひやくど

100°F人が指差す日傘さす

(季語：日傘=夏)

福来雀

さるすべり

百日紅光を宿す木肌かな

(季語：百日紅=夏)

福来雀

夕間暮れ瓜坊親子

ゆりね

百合根掘る

水澄

(季語：瓜坊=秋)

夏旺ん五百羅漢の姿かな

(季語：夏旺ん=夏)

昼寝覚

百句ものの作句褒めしや

さるすべり

百日紅 (季語：百日紅=夏) 千泉



百葉箱廃校の隅夏果つる

(季語：夏果つる=夏)

池福楼

おずおずと
両手で開く

百葉箱

福来雀

(季語：百葉箱=夏)



風涼し自然も神の

やおよろす

八百万

陽閑

(季語：涼し=夏)

奈良唐招提寺の庭



百までも
歩く初夏の翁媼や

おうおう

(季語：初夏=夏)

iSAMU



足留る百済観音清夏かな

くだら

(季語：清夏=夏)

陽閑